

■科目名			
教育方法・技術論【他学部生向け】 Educational Method			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職に関する科目【他学部用】	教育学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2			前後
■担当教員			
内山 仁			
■代表教員名及び連絡先等			
maedaaki@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
学外講師のため、教育学科前田（maedaaki@edu.kagoshima-u.ac.jp）まで問い合わせること。			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
明治維新以降、「学校」を輸入し、急速な教育拡大を遂げてきた日本の学校教育における「教育方法学」の意義を理解する。また近年盛んになる日本の学校教育において、盛んになる「教育技術」や授業論・授業研究に関して、一定の知見を得る。講義形式の授業である。			
■授業の到達目標及びテーマ			
近代教育思想と教授学について理解する。 日本における教育改革と教育方法について理解する。 授業のデザインにとって、重要な事項を理解する 教育実践と教育学研究の関わりについて理解を深める			
■授業計画			
第1回：ガイダンス 第2回：教育方法「学」とはなにか、なぜ「学」なのか 第3回：欧米における教育方法の歴史と課題(1)近代教育思想と教授学 第4回：〃 (2)体系化と授業の組織化 第5回：〃 (3)カリキュラム研究の誕生 第6回：日本における教育改革と教育方法(1)近代学校の成立 第7回：〃 (2)授業の定型化 第8回：〃 (3)授業改革の志向と試行 第9回：現代の教育方法学の論争点(1)学力論の現代史 第10回：〃 (2)問題解決学習論 第11回：〃 (3)「楽しい」授業・「教育技術」論争 第12回：授業論(1)授業のデザイン 第13回：〃 (2)現代的な「学び」論／「学び」の支援 第14回：〃 (3)メディアとしての教材・拡散する教材・評価とは何か 第15回：まとめ・確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			
授業において指示			
■受講要件			
■成績の評価基準			
確認試験100%			
■教科書・参考書			
教科書：特に定めない、印刷資料を毎回配布 参考書：授業において示す			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
2. 教育の理念、制度、歴史等に関する理解 【A教職の理解】教育の理念を理解し、教育の制度や歴史・思想に関する基礎的な知識を身に付けている 3. 教育方法に関する理解 【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析な			

ど、指導法や授業改善について理解している

5. 協働実践力

【B連携協働力、自己改善力の育成】 集団の中で、役割に応じてリーダーシップを発揮したり、他者と連携・協力して活動したりできる

6. 保護者・地域社会との連携力

【B連携協働力、自己改善力の育成】 学校と家庭や地域社会との連携・協力の在り方について、基本的な理解を深め、自ら連携・協力しようとする態度を身に付けている

9. 学習者の心理・発達に関する理解

【C学習者理解】 子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる

13. 生徒指導に関する構想力

【D構想力、展開力、評価力等】 個々人の発達課題の把握や問題行動及びその対応等の理解を深めるとともに、積極的な生徒指導の在り方について構想することができる

14. 教材分析力及び授業デザイン力

【D構想力、展開力、評価力等】 教材を分析する能力を身に付けており、教材研究にもとづいて授業をデザインすることができる

15. 授業展開力及び授業評価力

【D構想力、展開力、評価力等】 基礎的な教育技術や教育評価について理解し、それを活かした授業実践と、授業の評価・改善を行うことができる

16. 情報収集力、分析力、活用力

【D構想力、展開力、評価力等】 情報を収集し、整理・分析することを通して、その情報を活用していくことができる

17. 各教科等のカリキュラムに関する理解

【E教科領域等の内容理解】 教育課程及びその編成や学習指導要領について、基礎的な知識を身に付けている

18. 各教科内容の基盤的知識の理解及び技能の習得

【E教科領域等の内容理解】 教科内容の背景となる学問領域について、基盤的な知識や技能を身に付けている

19. 道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に関する理解

【E教科領域等の内容理解】 道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、教科以外の教育活動について、その指導内容や指導方法に関する基礎的な知識を身に付けている

アクティブ・ラーニング

振り返り(ミニッツ・ペーパー等)；

アクティブ・ラーニング(その他)

アクティブ・ラーニング(授業回数)

15回中10回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

出席カードの裏に感想・意見・要望を書き、リアクションペーパーとする。